

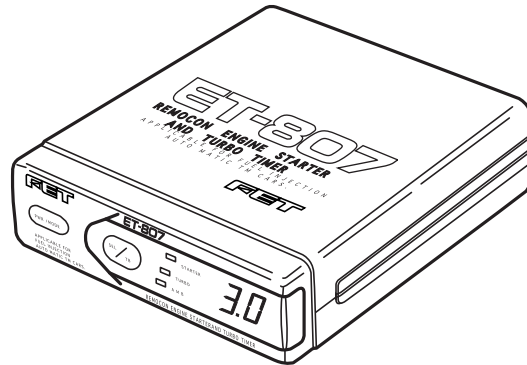
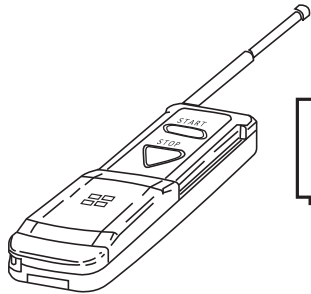
ターボタイマー機能付リモコンエンジンスタート

ET-807

REMOCON ENGINE STARTER
AND TURBO TIMER

RCR 特定小電力認定品

取扱説明書



このたびは、ET-807をお買い上げ頂き、誠に有り難うございました。
本製品をご使用前に、取扱説明書をよくお読みになり、取扱手順に従い操作下さい。

この取扱説明書は保証書にもなっていますので車検証とともに大切に保管下さい。

この取扱説明書の示されている注意事項を十分に理解されるまで
取付作業は、行わないで下さい。

正しく安全にご使用頂くために

- 1 使用前のご注意
- 2 取付上のご注意
- 3 取扱上のご注意

に分類し明記しています。

安全上の定義

取扱説明書では、取付作業、取扱の安全上の定義について下記マーク
で示しています。

警 告

警告を無視した取扱をすると、使用者やまわりの人が
死亡や重傷を負う場合があるもの。

注 意

法律に違反する恐れのあるもの、製品、車輛を損傷故障
させる恐れがあるもの。

参 考

取扱において知っていると有益な知識

もくじ

ET-807の特長、構成部品と名称	…1
1. 使用前のご注意(適応車種について)	…2
2. 取付上のご注意	…3
取付概略図	…4
取付方法	
1 アース線	
2 コネクティング KIT	
3 フットブレーキ線	
4 ボンネットスイッチ	…5
5 受信アンテナ	
6 エアコン線	
7 オルタネータ線	
8 外気温度センサ	…6
テストモード(1 2)	…7
3. 取扱上のご注意	…8~10
裏モードの設定方法	…11
リモコンの使い方	…12
本体の使い方	…13
各種エラー内容	…14

ET-807の特長

- リモコンスタータにターボタイマ機能がついています。
- 取付は車種別専用ハーネス《別売り(¥1,200～)FET製コネクティングKIT》で簡単に取付けられます。
- 本体数字表示部に、アフターアイドル時間、エラーコードを表示します。

■リモコンスタータ機能

- ・RCR標準規格適合特定小電力無線式
- ・小型受信アンテナ
- ・リモコン、START、STOPスイッチ付
- ・オートマチック車判別回路内蔵
(パーキング配線をする必要がありません)
- ・アフターアイドル時間変更可能
1分単位で20分まで変更が可能
- ・エンジン始動検出(クランキング検出)機能
セルモータの引きずり解消とオルタネータの配線が殆どの車で不要。
(クランキング検出が出来なかったときは必要な場合があります)
- ・リトライ機能(1回)
始動不良で1回目にエンジンがかからなかった場合に再始動します。
- ・グローアップ時間、変更機能(初期登録 6秒 2～20秒)
ディーゼル車/ガソリン車にあわせグロー時間が変更可能です。
- ・ホンダABS対策モード内蔵
ホンダABS装着車の『ABS警告灯』の誤点灯を対策します。
- ・フットブレーキ安全回路
フットブレーキを踏むとアフターアイドルを緊急停止します。

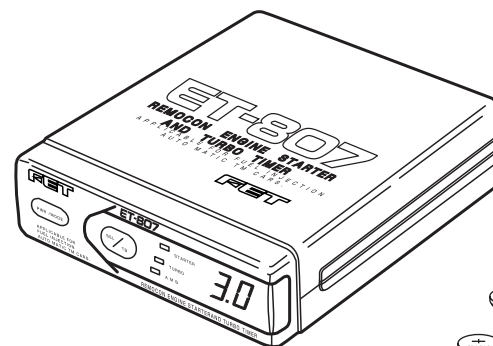
■ターボタイマ

- ・アフターアイドル時間変更可能
1分単位で20分まで変更が可能
- ・エンスト対策モード内蔵
軽4車などのエンスト(カウントダウンするがエンジンが停止する)症状を対策します。

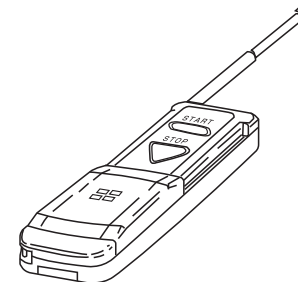
部品構成と名称

取付には、別売り(¥1,200～)の車種別専用ハーネスのFET製コネクティングKITが必要です。

部品の確認をしてください (部品内容は予告なく仕様変更する場合があります。ご了承下さい)



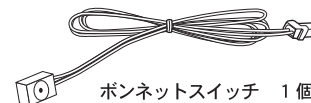
本体 1台



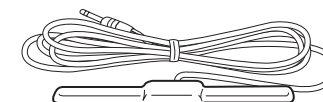
リモコン 1台



ボタン電池 3個
工場出荷時に挿入されています



ボンネットスイッチ 1個



受信アンテナ 1個



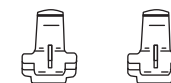
フットブレーキ線(茶) 1本



オルタネータ線(橙) 1本



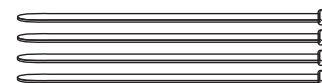
エアコン線(緑) 1本



ワンタッチコネクタ(赤) 2個



ワンタッチコネクタ(青) 1個



結束バンド 4本



警告シール 1枚



両面テープ 1枚



取扱説明書 1冊

1 使用前のご注意

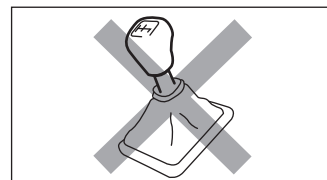
適応車種：国産12Vシフトロック付きオートマチック、インジェクション車

取付不可能車

警告

マニュアルミッション車への取付は出来ません。

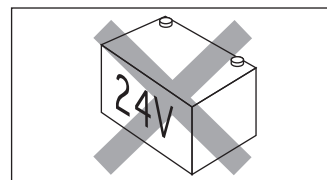
シフトロック付オートマチック車専用です。



警告

24V車への取付は出来ません。

12V車専用です。



警告

外国車への取付は出来ません。

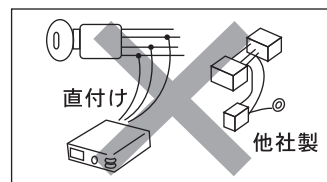
国産車専用です。



警告

直接配線や他社製ハーネスでの取付は出来ません。

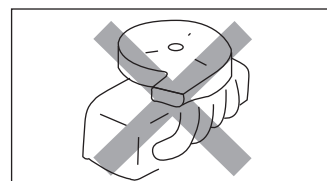
FET製コネクティングKIT専用です。



警告

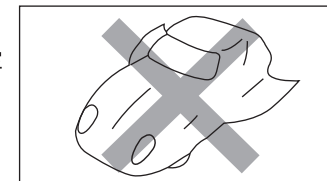
キャブレター車への取付は出来ません。

インジェクション車専用です。
(但し、天候その他の状況変化で、始動性が悪くなる車は取付出来ません。)



注

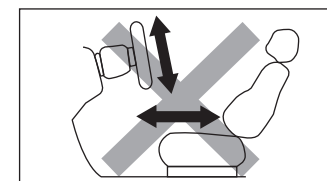
FET適応表以降の車に取付の場合は、必ず販売店、又はFET営業所、FETタイマー相談室までお問合せ下さい。



車輛側の変更がある場合、製品破損や車輛を損傷させる場合があります。

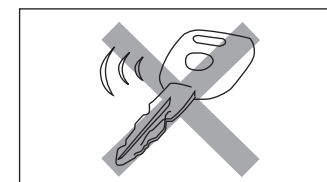
参

オートチルトハンドル、オートパワーシート装着車はターボタイマーが終了してもオート機能が働きません。



参

リモコンドアロック装着車は、アフターアイドル中にリモコンドアロック機能が働かない場合があります。



キーでドアを開閉して下さい。

参

日産オートマチック車で、キーロックシステムが装着されている場合、ターボタイマーを使用したときに、アフターアイドル中にエンジンキーが抜けません。別売り(¥3,600)のFET製キーロックリレーアダプタを併用して下さい。

詳しい内容は、販売店にあるFET適応表でご確認下さい。

詳しい適応車種につきましては、販売店にある『FETターボタイマー／エンジンスターター適応表』をご確認下さい。

ご使用について

取付について

取扱について

2 取付上のご注意

警告 コネクティングKITの配線の取り回しは、車輛のアース(金属)部分をさけ、絶縁テープを巻き付けて、しっかりと束ねて金属部分に電線がショートしないようにして下さい。

火災や車輛事故発生の恐れがあります。

警告 ボンネットスイッチの配線は確実にを行い、取付たときに、安全装置が働いていることを確認して下さい。

事故発生の恐れがあります。

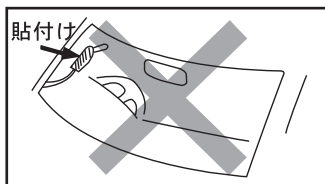
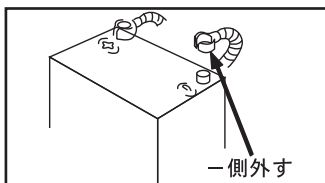
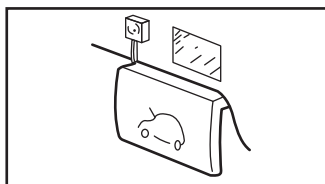
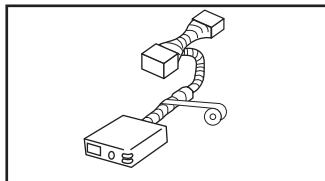
注 取付前はバッテリーのマイナス端子を外して取付作業を行って下さい。
故障や電気ショートの原因になります。
(作業終了後、ラジオのチューニングを行って下さい。)

注 受信アンテナをフロントガラスに直接貼付けることや、運転上の視界の妨げになる付近には取付しないで下さい。

法令違反や事故発生の原因になります。

注 エアバック装着車に取付る場合、エアバック関連の部品に影響を与えないよう注意して下さい。

事故発生の恐れがあります。



詳しい適応車種につきましては、販売店にある『FETターボタイマー／エンジンスターター適応表』をご確認下さい。

参 ET-807はエンジンのかかったことを検出する『クランキング検出』を採用しています。

ガソリン／ディーゼルを問わず、殆どの車でオルタネータの配線が不要ですが、車輛負荷(エアコン、その他)状況や、バッテリー状況によっては、『クランキング検出』が出来ない場合があります。
この場合は、『マニュアル検出』に設定変更して頂き、状況によっては、オルタネータ配線が必要になる場合もあります。

10ページからの【裏モードについて】を参照下さい。

参 ET-807基本配線でアフターアイドル中にエアコンが働かない車種があります。

トヨタ	オートエアコン装着車
マツダ	ユーノス800(ミレーニア)、アンフィニRX-7
日産	キャラバン／ホームー

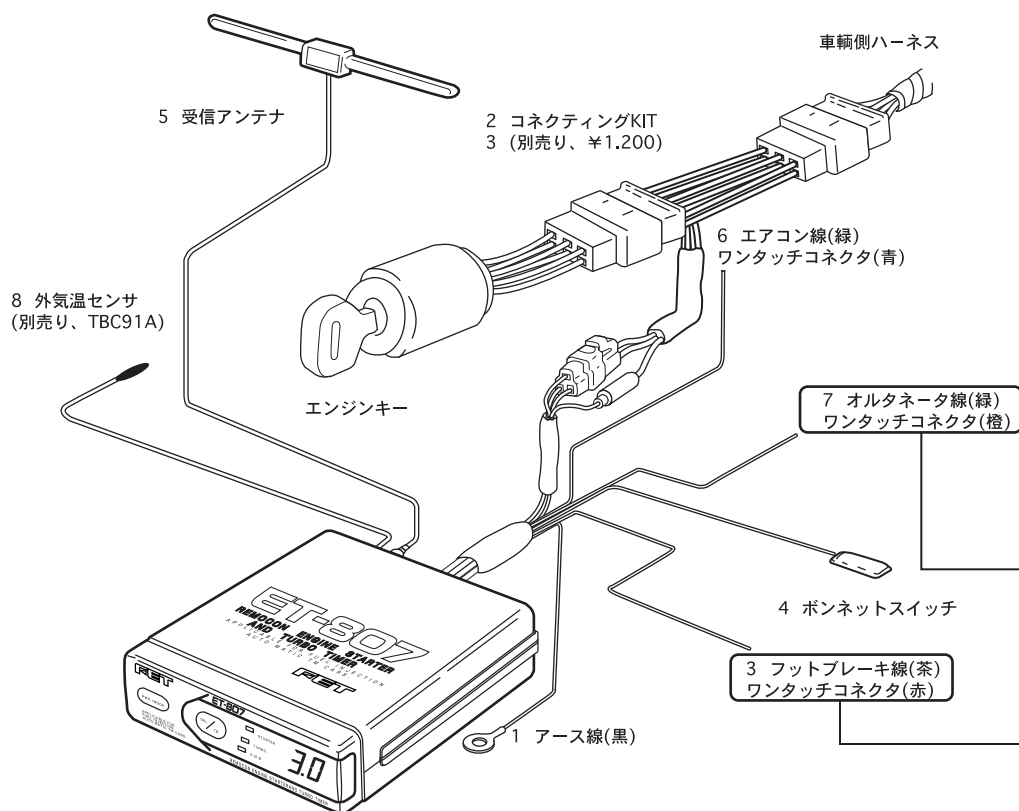
この場合、アフターアイドル中にエンジンキーを入れて、ACC(アクセサリ)位置にして、エアコンが働くことを確認して、エアコン線の配線を行って下さい。

上記車種以外でも、アフターアイドル中にエアコンが働かない場合は6ページの『エアコンの配線』を行って下さい。

参 日産オートマチック車で、キーロックシステムが装着されている場合、ターボタイマーを使用したときに、アフターアイドル中にエンジンキーが抜けません。
別売り(¥3,600)のFET専用のキーロックリレーアダプタを併用して下さい。

詳しい内容は、販売店にあるFET適応表でご確認ください。

取付概略図



注

FET製コネクティングKITは、販売店にあるFET適応表を確認のうえ、ご使用下さい。

適応年式以降の新型車やマイナーチェンジ車で、コネクタ形状は同じであるが、配列が異なるために、車両電装品を破損させる場合があります。

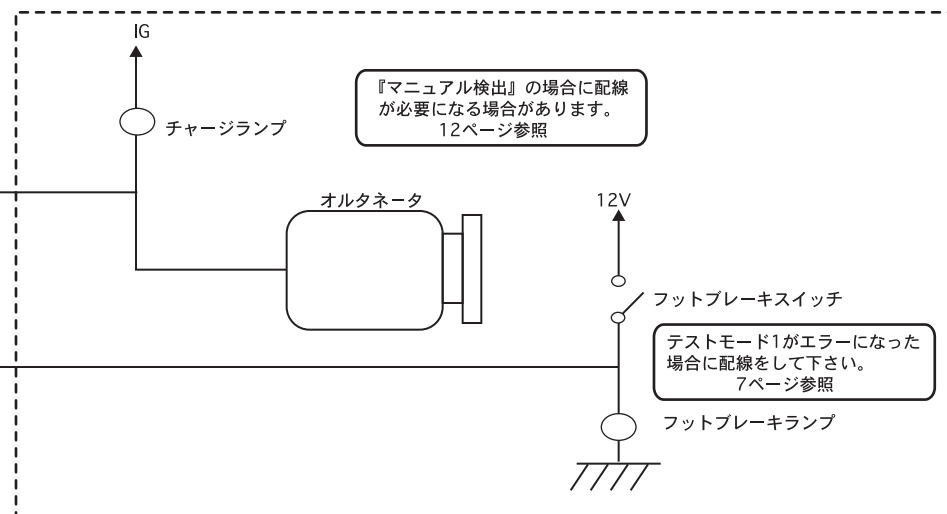
必ず、販売店、FET各営業所、または、FETタイマー相談室までお問合せ下さい。

FETタイマー相談室 (0795)68-7085

配線色内容

配線色	配線内容	備考	
赤	常時電源線 (12V)	コネクティングKIT	電源線関係
白	スタータ線 (ST)		
黄	イグニッション線 (IG1)		
青	イグニッション線 (IG2)かACC		
緑	エアコン線	接続はワンタッチコネクタ(青)	
黒	アース線		
茶	フットブレーキ線	接続はワンタッチコネクタ(赤)	安全装置
黒	ボンネットスイッチ		
橙	オルタネータ線	接続はワンタッチコネクタ(赤)	
黒	受信アンテナ		

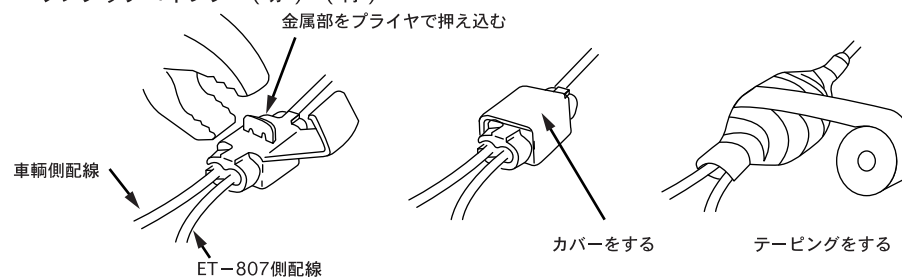
車両結線内容



ワンタッチコネクタの使い方

ワンタッチコネクタ (赤) (青)

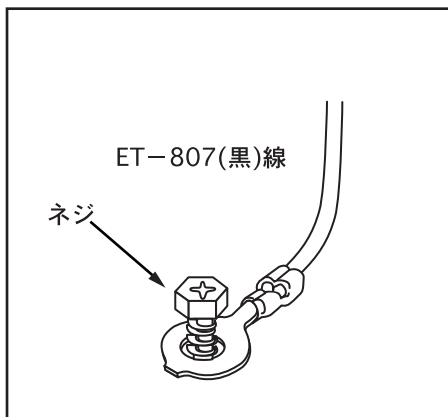
金属部をプライヤで押え込む



取付方法

1. アース線の接続方法

(黒線)



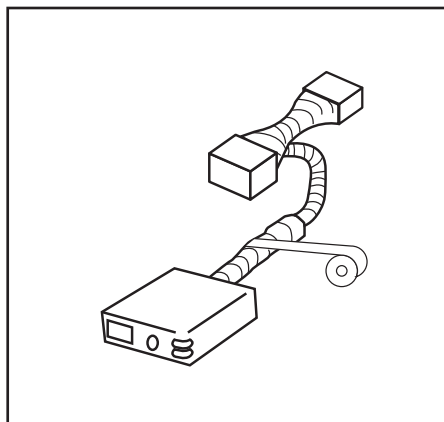
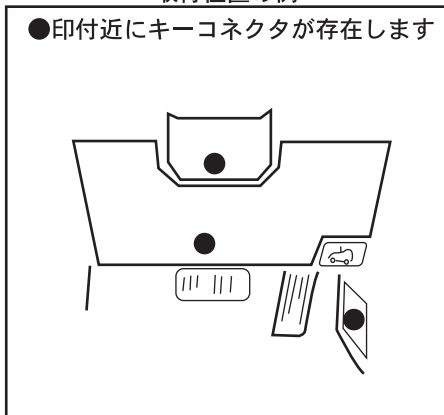
参 車体金属部分に付いているネジに、しっかりと固定して下さい。

2. コネクティングKITの接続

(別売り ¥1,200~)

取付位置の例

●印付近にキーコネクタが存在します



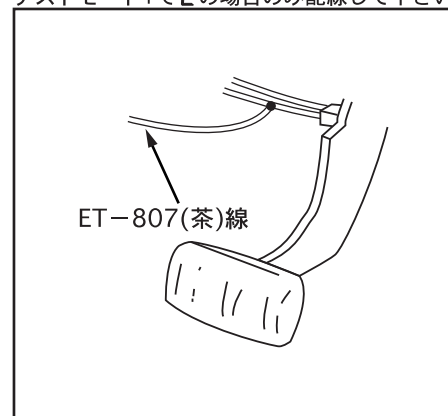
警告 適応表に無い車種への取付や直接配線は絶対にしないで下さい。

警告 取付後は車輻金属部分への接触がないよう、テーピングして下さい。
また、走行中に接触しないように結束して下さい。

3. フットブレーキ線の接続

(茶色線)

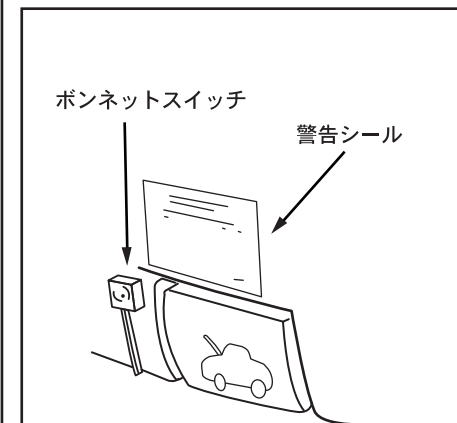
テストモード1でEの場合のみ配線して下さい



参 フットブレーキ上方にあるコネクタの配線でブレーキを踏んだときに12Vになる線にワンタッチコネクタで接続して下さい。

注 金属部分にかみこまないよう、また、配線が運転の妨げにならないように結束して下さい。

4. ボンネットスイッチの取付



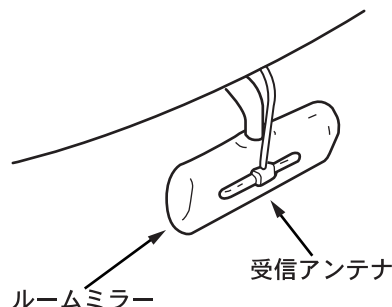
ボンネットレバーのみえる所にボンネットスイッチと警告シールを貼付けて下さい。



注 金属部分にかみこまないよう、また、配線が運転の妨げにならないように結束して下さい。

5. 受信アンテナの取付

ルームミラーやピラー付近に貼付ける。



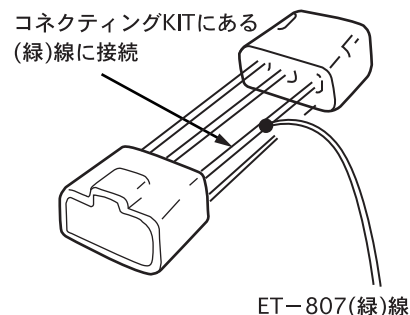
注 フロントガラスに直接貼付けしないで下さい。

注 運転上の視界の妨げにならない位置に貼付けて下さい。

6. エアコン線の配線

(緑線)

アフターアイドリング中にエアコンが働かない場合に配線が必要



参 コネクティングKITの緑線にET-807の緑線にワンタッチコネクタで接続して下さい。

参 トヨタ オートエアコン装着車
マツダ アンフィニ RX-7
ユーノス800(ミレーニア)
日産 キャラバン/ホーミー

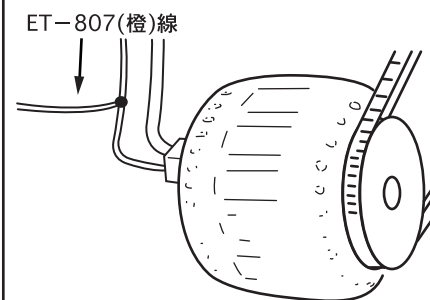
上記、車種以外でも、アフターアイドリング中にエアコンが働かない場合に配線をして下さい。

7. オルタネータ線の接続

(橙線)

『クラッキング検出』で、セルモータの引きずりや、始動不良が発生する場合は、10ページ手順『裏モードについて』を参照のうえ『マニュアル検出』(A3モード)に変更してオルタネータ配線を行って下さい。

『クラッキング検出』(A1、A2モード)のままでは、オルタネータ配線の読取りを行いません。

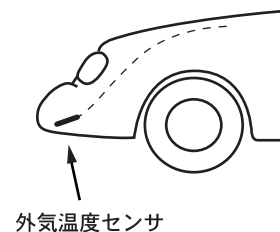


参 エンジンルーム内のオルタネータから出ている細い線でエンジンキーON時に 約1V
始動時に 約12V
になる線にワンタッチコネクタで接続して下さい。
テスターで検電して下さい。

敬言 結線後の(橙)線は車輛金属部分に接触しないように結束して下さい。
車輛焼損や、電装品を損傷させる恐れがあります。

8. 外気温度センサの接続

(別売り、TBC91Aが必要)



参 エンジンルーム内の通気性の良いフロントバンパ付近に取付けて下さい。

ご使用について

取付について

取扱について

テストモード



- ・テストモードを終了しないと、リモコンスタータ、ターボタイマは使用出来ません。 最初に、テストモード1を行って下さい。
- ・バッテリー交換、コネクタを外した場合は、必ず、テストモードの操作を行って下さい。
- ・テストモードは、オートマチック車であることを確認する『オートマチック判別回路』です。

テストモード 1

(サイドブレーキをしっかりかけ、フットブレーキを踏み、車が動かないこと)

1	エンジンを始動させる	2	(P/M) スイッチ押す	3	シフトをDレンジにする
操 作		操 作		操 作	
表 示		表 示		表 示	
	表示していません		-- を2秒程表示し P を表示します		dを5秒間表示し、 0を5秒間表示し、10 表示に切替る。

オートマチック
判別終了

1	シフトをDレンジにする	2	エンジンを停止させる
操 作		操 作	
表 示		表 示	
	10 表示のままです		表示が消えます

エンジンを停止
させ、フットブレーキ
配線をして下さい。

E
表示が出る

P d
が切り替らない

本体表示が消える場合は、
アース線の接続不良です。
5ページの『アース線の接続』
を参照し、確実に金属部分に
接続して下さい。

オートマチック
判別終了

リモコンスタータが
使用出来ます

テストモード 2

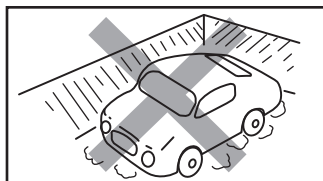
(テストモード1で **E**(エラー)になった場合に行ってください) (サイドブレーキをしっかりかけ、フットブレーキを踏み、車が動かないこと)

1	エンジンを始動させる	2	フットブレーキを踏む	3	シフトをDレンジにする	4	STARTスイッチを1回押す
操 作		操 作		操 作		操 作	
表 示		表 示		表 示		表 示	
	E を表示します		E 表示から 1 に 切替ります		1 表示のままです		2 を1秒間表示し、 0 を2秒間表示し、10 表示 に切替る。

3 取扱上のご注意

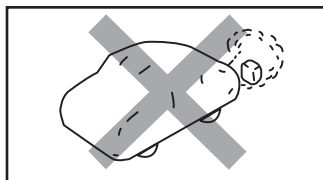
警告 密閉された場所で使用しないで下さい。

排気ガスが充満し、大変危険です。



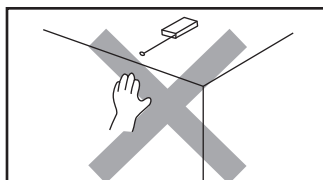
警告 車にボディカバーをかけたままや、車の近くに燃えやすい物がある場合は使用しないで下さい。

火災や発生の恐れがあります。



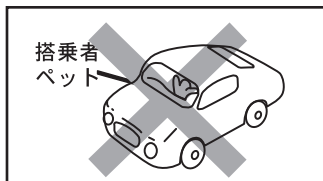
警告 リモコンはお子様の手の届く場所には、置かないで下さい。

誤った操作で事故発生の恐れがあります。



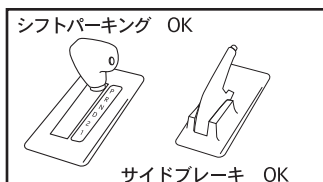
警告 搭乗者やペットを車内に残したまま、使用しないで下さい。

思わぬ発進事故が起こる恐れがあります。



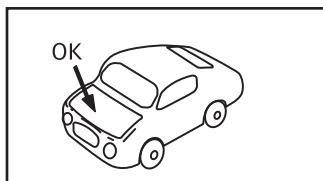
警告 ご使用前に、必ずシフトレバーをパーキング位置にし、サイドブレーキをしっかりとかけ、車が動かないことを確認して下さい。

思わぬ発進事故が起こる恐れがあります。



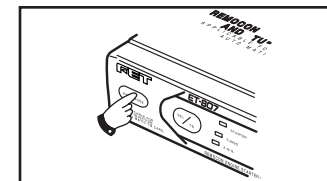
警告 エンジン始動の際は、必ずボンネットが閉まっていることを確認して下さい。

事故発生の恐れがあります。



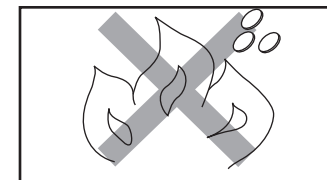
警告 車を他人に預ける場合や整備される場合は、本体の電源スイッチをOFFして下さい。
また、リモコンの電池を抜いて下さい。

事故発生の恐れがあります。

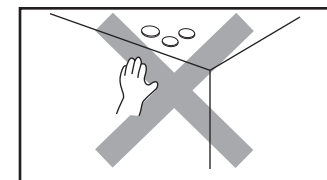


警告 ボタン電池は、火中に投げ入れないで下さい。

爆発する恐れがあります。

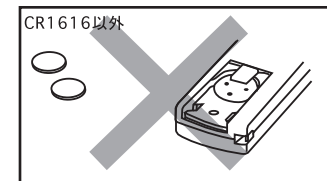


警告 ボタン電池は、お子様の手の届く場所には、置かないで下さい。
万一、電池を飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談して下さい。



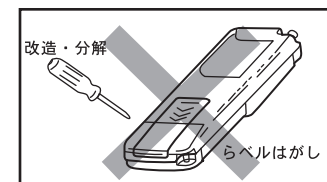
警告 ボタン電池は指定(CR1616)の電池以外は使用しないで下さい。

リモコンが故障する場合があります。



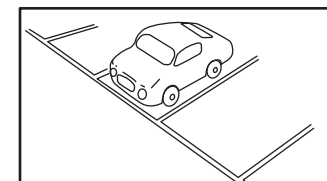
注 本製品は郵政認可、特定小電力の技術基準適合証明を受けており、リモコンの分解、改造証明ラベルをはがさないで下さい。

法律違反になり罰せられる場合があります。



注 アフターアイドルリングする場合、必ず換気のよい駐車場、私有地内でご使用下さい。

公道での使用は法令違反になります。

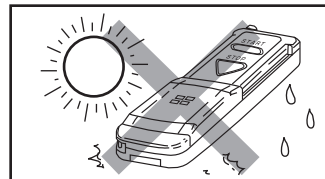


ご使用について

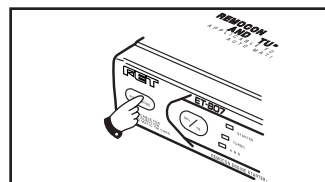
取付について

取扱について

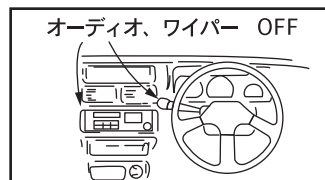
注 リモコンは水濡れ、落下、長時間の直射日光や暖房器具の近くに放置しないで下さい。
リモコンは防水されていません。
故障の原因になります。



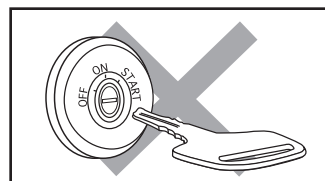
注 本体を車から取り外す場合やバッテリー交換の際は、必ずパワースイッチをOFFにして下さい。
本体が故障する場合があります。



注 ご使用の前にワイパー、オーディオ関係の電源は、必ずOFFにして下さい。
車載電装機器が故障する場合があります。



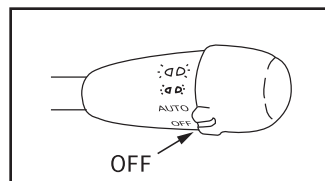
注 アフターアイドリング中にエンジンキーは差し込まないで下さい。
(一旦、リモコンでストップしてください。)
思わぬ発進事故が起こる恐れがあります。



注 海外では使用しないで下さい。
法令違反になり罰せられる場合があります。



注 純正オートライト装着者は、必ずライトスイッチをOFFにしてご使用下さい。
ライトが消灯せず、バッテリー上がりを起こす場合があります。



注 走行中の本体のスイッチ操作はおやめ下さい。

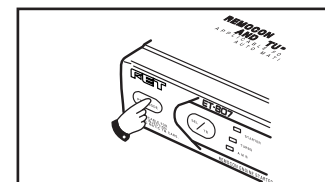
前方不注意による事故発生の恐れがあります。

参 リモコンドアロック装着車は、アフターアイドリング中にリモコンドアロック機能が働かない場合があります。



キーでドアを開閉して下さい。

参 ET-807はバッテリー保護のスリープモード機能が内蔵されていますが、一週間以上、ご使用にならない場合は、パワースイッチをOFFにして下さい。



参 バッテリーを外したり、交換した場合、オートマチック判別のメモリが消去されます。再度、ご使用の場合は、テストモードから操作して下さい。

参 ET-807の電波到達距離は、見通しの良い所で200~300mです。車輦との間に建築物や障害物(自動車)がある場合は、電波到達距離が短くなります。

参 リモコンと本体は、1対1でペアになっています。リモコンを破損や紛失し、修理、又は交換する場合は、本体ごとお預かりすることになります。

有償になります。(購入店、FET各営業所までお問合せ下さい。)

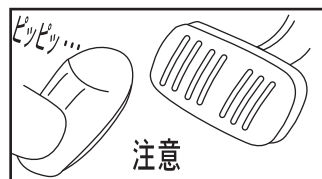
参 本体が正常に動作しない場合、リモコンもお預かりし、点検する場合があります。ご了承下さい。

詳しい内容は、FETタイマー相談室までまでお問合せ下さい。

TEL(0795) 68-7085

参

フットブレーキ配線をしている場合、アフター
アイドリング中にフットブレーキを踏めばエンジ
ンが停止します。
ターボタイマをご使用の場合、カウントダウン
が始まった最初の10秒間はフットブレーキ
を受け付けません。



参

ターボタイマを使用したときに、カウントダウンはするが、エンジンが
止まってしまう場合は、10ページの【裏モードについて】を参照し
『エンスト対策モード』を設定して下さい。

ET-807は別売りのエンスト防止アダプタ(TBC18 TBC918)の
併用は出来ません。

注
参

ET-807はリモコンスタータをご使用のうえで、オルタネータの配線を必要と
せずに、エンジンのかかったことを検出し、且つ、セルモータの引きずりを解消
する『クランキング検出』やホンダABS装着車のABS警告灯の誤点灯を
防止する『ホンダABS対策モード』を内蔵しています。
これらの、モードについては、特別、発生する不具合や症状に合わせて
設定を行えるよう、『裏モード』として内蔵しています。

『始動検出モード』については、工場出荷時の *A1* (A1モード)のまま
殆どの車が、オルタネータ配線が不要で、セルモータの引きずりがなく、
始動判別が可能なように、設計されています。

但し、車輛負荷(エアコン、その他)やバッテリー状態により、*A1* (A1モ
ード)で検出出来ない場合もあります。

この場合は、手順に従い、『始動検出モード』の設定の変更を行っ
て下さい。

裏モードについて

『始動検出モード』は

A1 (A1モード) クランキング検出1 (工場出荷時)

A2 (A2モード) クランキング検出2

A3 (A2モード) マニュアル検出

『エンスト対策 ホンダABS対策モード』は

F (エンスト対策モード) (工場出荷時は設定されていません)

H (ホンダABS対策モード) (工場出荷時は設定されていません)

『始動検出モード』A1モードで殆どの車種が使用出来ます。

リモコンスタータを使用して、エンジンがかかっているのにセルモータの引き
ずりや、リトライ(再始動)をし、エラーになる場合に、『始動検出方法』の設定を
変更して下さい。

『始動検出モード』内容と変更可能時間

	表示	クランキング検出		マニュアル検出	
		<i>A1</i>	<i>A2</i>	<i>A3</i>	
グロー時間	-1	6 (2 ~ 20)			← 始動検出 ← 初期6秒
セル時間	-2	自動(最大3秒)	1.5 (0.5 ~ 3.0)		← 初期1.5秒
検出時間	-3	—	25 (60)		← 初期25秒

《エンジンがかかっているが、始動判別が出来ていないとき》
(A1モード)で、セルモータの引きずりや、リトライ(再始動)し、エラーになる場合は
(A2モード)に変更して下さい。
(A2モード)でも直らない場合は、(A3モード)にして下さい。
(A3モード)では、検出時間の変更が可能です。60秒に変更しても、始動検出が出来な
い場合は、オルタネータの配線を行って下さい。

『エンスト対策、ホンダABS対策モード』内容

	メニュー	解除か設定	
エンスト	<i>F</i>	0 (1)	← 初期 0 (解除) 1 (設定)
ホンダ	<i>H</i>	0 (1)	← 初期 0 (解除) 1 (設定)

裏モードの設定方法

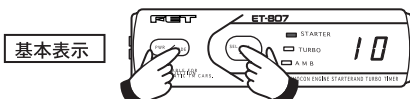
本説明書では

PWR/MODE スイッチ (P/M)
SEL/TB スイッチ (S/T)

を

と明記しています。

裏モードのいれかた



基本表示

(P/M)(S/T) 同時押し
5秒押し 続ける



始動検出表示

(P/M)(S/T) 同時押し
3秒押し 続ける



エンスト/
ホンダABS表示

ピー音とともに、**A-** を表示(1秒間)後
A1 を表示します。

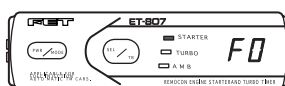
設定終了後であれば、(P/M)スイッチを
2秒間押し続ける。

ピー音とともに、**F-** を表示(1秒間)後
F0 を表示します。

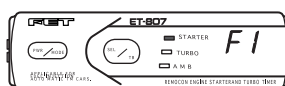
設定終了後であれば、(P/M)スイッチを
2秒間押し続ける。

エンスト対策、ホンダABS対策モードの設定方法

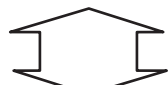
エンスト対策表示 解除



エンスト対策表示 設定

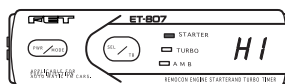


(S/T)
1回押し



ホンダABS対策表示 解除

ホンダABS対策表示 設定



(S/T)
1回押し

各モード設定終了後は
(P/M)スイッチを2秒間
押し続けて下さい。

始動検出モードの設定、変更方法

クランキング検出1



クランキング検出2



マニュアル検出



(S/T)
1回押し

(S/T)
1回押し

(P/M)
1回押し

(P/M)
1回押し

(P/M)
1回押し

グロー時間変更

-1
を1秒間表示

グロー時間変更

グロー時間変更



グロー時間
6秒を表示



(S/T)スイッチを1回押す毎に 1 8 9 19 20 2 3 と変更します。

『グロー時間』はリモコンを受付けて、セルモータが回るまでの時間です。

初期は6秒で登録されています。 2秒~20秒まで1秒単位で設定変更が可能です。

各モード設定終了後は

(P/M) スwitchを2秒間
押し続けて下さい。

マニュアル検出のみ

-2
を1秒間表示

(P/M)
1回押し

(S/T)スイッチを1回押す毎に
1.5 1.6 1.7 2.9 3.0 0.5 0.6 と変更します。

『クランキング時間』はセルモータが回る時間です。
マニュアル検出のみ設定変更が可能です。

クランキング時間
1.5秒間を表示



初期は1.5秒で登録されています。 0.5秒~3.0秒まで0.1秒単位で設定変更が可能です。

各モード設定終了後は

(P/M) スwitchを2秒間
押し続けて下さい。

マニュアル検出のみ

-3
を1秒間表示

(P/M)
1回押し

(S/T)スイッチを1回押す毎に
25 60 25 60 と変更します。

『検出時間』はマニュアル検出でセルモータが回り
終わってから、リトライ(再始動)に行くまでの時間です。

60秒を要しても、電圧上昇が無い場合は、エンジン
始動検出が出来ませんので、オルタネータの配線をして下さい。
初期は25秒で登録されています。 60秒と変更が可能です。



検出時間
25秒を表示

『始動検出モード』の設定方法

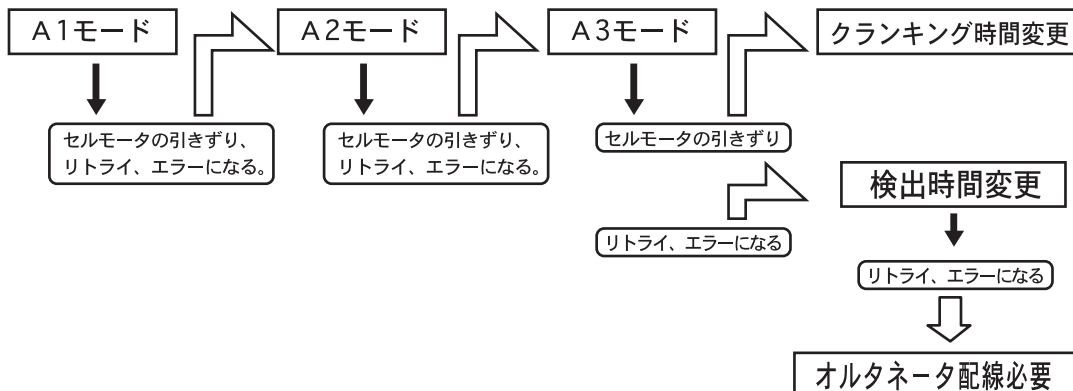
ET-807は工場出荷時のA1モード(クランキング検出1)で殆どの車がオルタネータ配線を必要とせず、セルモータの引きずりもなく、始動検出が可能です。

但し、車輛負荷(エアコン、その他)状況や、バッテリー状況によって、A1モードで検出出来ない場合があります。

下記症状を参考に設定変更を行って下さい。

症状と変更手順

エンジンはかかっている



設定後のモード確認について

『始動検出モード』、『エンスト、ホンダABS対策モード』の設定は、本体表示直後の最初の2秒間に……『始動検出モード』を表示し
次の2秒間に……『エンスト、ホンダABS対策モード』を表示します。

工場出荷時は



を表示します。

例えば、A2モードに設定し、エンスト、ホンダABSを設定した場合は

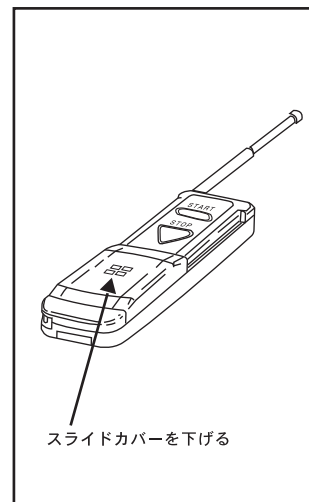


を表示します。

リモコンの使い方

テストモードを終了しないとリモコンスタートは使用出来ません。

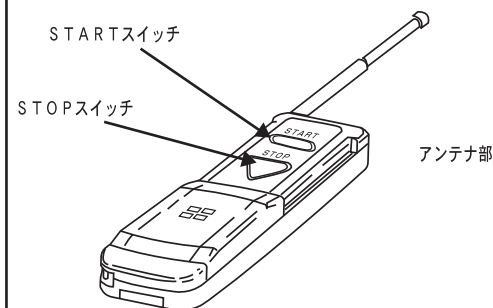
スタート/ストップのしかた



警告

『3.取扱上のご注意』を守り、ご使用ください。

アンテナ部を最大に伸ばす



リモコンスタートさせる

STARTスイッチを1回押す
(ピピッ音が鳴り、5秒後に送信終了のピピッ音が鳴ります)

リモコンストップさせる

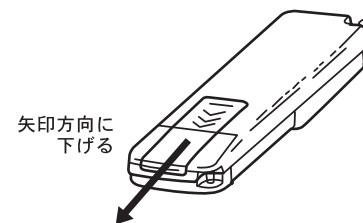
STOPスイッチを1回押す
(ビッ音が鳴り、5秒後に送信終了のビッ音が鳴ります)

注

* 送信終了までの5秒間はSTART、STOPスイッチは受け付けません。(連続押しは出来ません)

電池の交換のしかた

(使用電池：CR1616 3個)



注

電池寿命は、使用頻度により異なりますが約1年です。交換のめやすは、送信終了後のブザー音(5秒後)が鳴らないときです。

ご使用について

取付について

取扱について

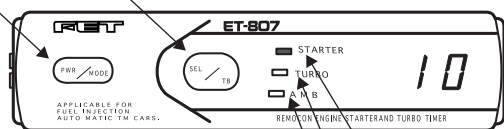
本体の使い方

各機能、名称と操作のしかた

- ・エンジンスタータのアフターアイドリング時間の変更方法
- ・ターボタイマの設定／解除とアフターアイドリング時間の変更方法
- ・外気温度計(別売り TBC91A)の設定／解除について

PWR/MODE スイッチ : パワー／モードスイッチ 説明書内では (P/M) 電源の ON OFF や外気温度表示切替えなどに使用

SEL/TB スイッチ : セレクト／ターボスイッチ 説明書内では (S/T) ターボタイマの設定／解除、アフターアイドリング時間の変更などに使用



基本表示状態
(スタータアイドリング
10分を表示しています)

スタータランプ

点灯中はリモコンスタータとして
使用可能

ターボランプ

点灯中はターボタイマが使用可能

外気温度 (AMB) ランプ

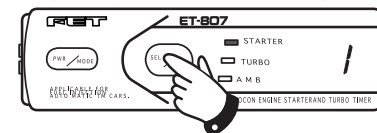
点灯中は外気温度を表示
(別売り、TBC91Aが必要)

ターボタイマ

ターボタイマを使用する

(S/T)スイッチ を1回押す (解除は(S/T)スイッチ 1回押す)

- ・TURBOランプが点灯
- ・1分を表示しています。
このままエンジンを
切ると、1分間のアフター
アイドリングをします。



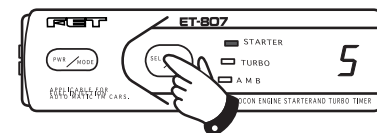
一回押し

アイドリング時間の変更のしかた

【5分に変更する場合】 (変更可能時間 1～20分)

(S/T)スイッチ を押し続け、5の表示のところではなす。

- このまま、エンジンを切ると、
5分間のアフターアイドリングを
します。
再度、エンジンを始動すると
5分は記憶されています。



押し続け

- ・TURBOランプ点灯中は、エンジンを切ると毎回アフターアイドリングをします。
- ・TURBOランプ点灯中の数字表示は、ターボタイマのアフターアイドリング時間です。
- ・ターボタイマ設定中(TURBOランプ点灯)に外気温度表示を設定すると、数字表示部分は外気温度表示が優先されます。このままエンジンを切ると、アフターアイドリング表示に切り替わりカウントダウンを行います。

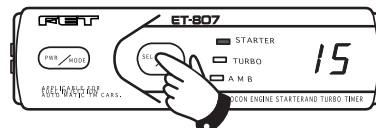
エンジンスタータ

アイドリング時間の変更のしかた

【15分に変更する場合】 (変更可能時間 1～20分)

(S/T)スイッチ を押し続け、15の表示のところではなす。

15分に変更、登録されました。
リモコンスタータを受付けると
15分間のアフターアイドリング
を行います。



押し続け

- ・STARTERランプ点灯状態がリモコンスタータの受付け条件です。
- ・(P/M) スイッチを1回押し、本体電源を切った状態でエンジンを呈停止させると、リモコンは受付けません。

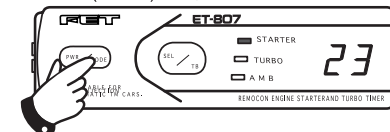
外気温度計8別売り、TBC91A)の使い方

外気温度表示させる

* 別売り、外気温度センサ TBC91Aが必要です。

(P/M)スイッチ を2秒以上押す
(表示解除は(P/M)スイッチ を2秒以上押し)

AMBランプが点灯
23℃を表示しています。



2秒以上押す

- ・温度表示測定範囲はマイナス19℃～59℃です。
- ・外気温度表示状態のまま、リモコンスタータもターボタイマもご使用、設定変更は可能です。
- ・外気温度計(TBC91A)を接続していない場合は、温度表示いたしません。
- ・氷点下表示の場合は、AMBランプが点滅します。

各種エラー内容

エンジンスタータ、ターボタイマ
が正常に作動しない場合、下記エラー
表示をします。

故障、不良と思われる前に各種エラー表示と内容をご理解頂きご使用下さい。

表示内容	エラー名称	原因	対処方法
E r r	テストモード エラー	テストモード1で オートマチック判別 が出来ませんでした。	フットブレーキ線の配線を行ない、テストモード2の操作を行って下さい。
E - 1	テストモード エラー	テストモード1が 正常に終わっていません。	MAINスイッチをOFFにし、もう一度、テストモード1から操作して下さい。
E - 2 (SETランプ消灯)	ボンネット エラー	ボンネットスイッチを受付けました。	ボンネットを閉め、SETスイッチを3秒以上押して下さい。
E - 3	ブレーキ エラー	サイドかフットブレーキを受付けました。	サイドブレーキをかけて下さい。
E - 4	パーキング エラー	パーキングレンジ以外に入っています。	パーキングにして下さい。
E - 5	スターター エラー	エンジンがかかりませんでした。	エンジンがかかっているのに、スタータが回ってしまう場合は、6ページのオルタネータの配線が必要です。
E - 6	バッテリー エラー	バッテリー電圧が10V以下になっています。	バッテリーの点検を行って下さい。
E - 7	エンジン エラー	アフターアイドル中に電圧が下がりました。	6ページのオルタネータの配線が必要です。

仕様

リモコン

技術基準	R C R 基準規格	テレコントロール用無線設備適合
送信周波数	特定小電力	426MHz帯
通信方向	単方向通信	(F1D)
送信電力	1mW	
送信時間	3秒以上	
送信休止時間	2秒以上	
送信コード	IDコード + コントロールコード	
送信アンテナ	内臓アンテナ	
動作温度範囲	-10℃~+60℃	
使用電池	リチウムCR1616	3個
定格電圧	9V	
動作保証電圧	5.6V~11V	
送信機寸法	30×83.5×16mm	
送信機重量	33g	

本体

受信アンテナ	1/4λ 室内アンテナ
動作温度範囲	-20℃~+70℃
定格電圧	12V
動作保証電圧	10V~15V (但し、始動時は6V)
クランク時間	1.5秒(リトライステップアップ方式 2回目 2.0秒 3回目 2.5秒)
アイドリング時間	1分単位で20分(リモコンスタータ、ターボタイマ)
受信機寸法	117.6×125×28mm
受信機重量	300g

ご使用について

取付について

取扱について